

「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」 学校図書館リニューアル等事業

広島県 広島県立熊野高等学校

基本データ

所在地	安芸郡熊野町川角五丁目 9番1号
児童生徒数	421人
教職員数	51人
蔵書数	約7,000冊
年間貸出冊数	512冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】環境整備

【活動のねらい】

- 本県における「学びの変革」アクション・プランに基づく「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」の一環として「主体的な学び」を促進し、本校グランドデザインに示された「生徒の学力や個性を伸ばす学校」の実現に向けた取組。
- 図書館資料の廃棄・更新、書棚の配置の工夫などの環境整備を「学習意欲」「探究」「生徒のつながり」「新しい絆」「居場所」をキーワードに設計し、生徒の「探究心を高揚させる場」「多様性を伸ばす場」「心の居場所」として機能化させる。

取組・活動の概要

- 広島版「学びの変革」アクション・プランに基づく「主体的な学び」の充実に向けた取組の一つとして、学校図書館をツールとして積極的に活用するため、図書館資料の更新、書棚の配置の工夫などの学校図書館の環境整備を実施した。



整備後の図書館

- 学校図書館及び読書活動推進上の課題の改善及び「本校の育てたい生徒像」の実現に向けて、外部専門家の指導・助言のもと、図書館資料の廃棄・更新、書棚の配置の工夫など、学校図書館の環境整備を行った。
- また、学校と地域の連携・協働の取組として、広くボランティアを公募しリニューアル作業を協働で行った。
- 廃棄図書12,150冊、購入図書419冊

【改修の工程】

- 3月 リニューアル方針・計画の策定
- 4月 リニューアル案の作成
- 5月～6月 随時不用図書の除籍・廃棄、ボランティア募集
- 6/26 生徒による図書の運び出し（1年）
- 7/10 生徒による図書の運び出し（2年）
- 7/17 生徒による図書の運び出し（3年）
- 7/23～25 図書館リニューアル作業
大掃除・クロス張り・ペンキ塗り・蔵書移動・除籍・廃棄・新書登録・サイン・ポスター掲示等
- 8月以降 図書委員による組織的な運営・活用

取組・活動の工夫や特徴

- 本校の課題を明確化し、リニューアルを通じて課題改善を図った。

【学校図書館及び読書活動推進上の課題】

- 授業での利用状況が活発でない。
- 蔵書構成に偏りがある上、内容が更新されていない古い本が多い。
- 開架であるが、天井までの書架が集中して設置され暗い。

- 車いす利用生徒等、障がいのある生徒が利用しにくい環境である。

【学校図書館機能の明確化】

- 生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する機能。
- プロジェクターを設置し、多様な授業スタイルに対応し生徒の能動的な学びを支援する機能。また指導の改善・充実を支援する機能。
- 教職員をサポートする県立図書館とのレファレンスや取り寄せ等の機能。
- プレイゾーン（ボードゲーム配置）による生徒の新しいコミュニケーションを創造する機能。
- 教室内の人間関係から自分を取り戻す「子どもたちの居場所」の機能。
- 地域における読書や対話をツールとした支援活動の拠点。

【人的資源の活用】

- 図書館担当として非常勤職員を配置。
- 学校教育への参画意識を醸成する地域ボランティアの募集と協力。
- リニューアル作業日の参加者数は、生徒・教職員 161 人、地域ボランティア 56 人。

【学校図書館及び読書活動推進上の学校体制づくり】

- 司書教諭及び非常勤事務職員（学校図書館担当）の司書室駐在。
- 司書室・事務室を中心とした企画・設計・管理。
- 総務部によるスケジュール管理。
- 生徒会図書委員会の活用。

取組・活動の成果や今後の展望

- 本校における生徒の現状として「学び続ける力」「知識・技能を活用する力」「学習意欲」等を強化するツールとなった。
- 学校図書館を計画的に利用することにより、その機能の活性化を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の主体的、自発的な学習活動や読書活動を充実した。
- 公開研究授業やオープンスクール、文化祭での公開や、幼保小中高連携等で地域に普及しており、熊野町内の中学生を集め本校生徒とワークショップを開催するなど活用の幅が広がっている現状にある。



中高生のまちづくりワークショップ